

あなたの地区の接続率

%

裏面に参考データがありますのでご覧ください。

ぐんま集排だより



処理施設全景(連続流入間欠ばつ気方式)

処理施設を訪ねて

富岡市岡本地区

岡本地区について 教えて下さい。

富岡市は、平成18年3月27日に富岡市、妙義町の2市町が合併し、総人口約5万4千人の新「富岡市」として発足しました。

本市は、群馬県の南西部に位置し、高崎市、安中市、下仁田町、甘楽町、吉井町と接しています。東京から約100kmの距離にあり、上信越自動車道及び関越自動車道によって東京練馬インターチェンジと約1時間で結ばれ、高崎市及び前橋市からは、20～30kmの距離にあります。

市民のシンボルである富岡製糸場は、世界遺産暫定リストに登録され、市外からの訪問者が増えています。

東は関東平野に続く平坦地で、西には上毛三山の一つである標高1,104mの妙義山、南には標高1,370mの稻含山、北は丘陵地帯であり、中央部を鎗川とその支流である高田川が流れ、その流域に平地が開け、市街地・集落地を形成している四季の変化に富んだ自然が豊かで、風光明媚な地域です。

岡本地区は市の南部に位置し、水稲栽培のほか、畑作や酪農も盛んに行われている農村地帯です。近年、近隣市町村などからの人口流入があり、宅地化が進んでおり、非農家との混在化が進んでいる地区です。

事業への取り組みについて 教えて下さい。

岡本地区農業集落排水事業は、富岡市では初めての事業として平成7年度にスタートし、岡本地区・南後箇地区及び内匠地区の一部が事業区域となっています。

計画戸数857戸、計画人口3,390人、総事業費約28億円をもって平成17年に供用を開始しました。処理方式は「連続流入間欠ばつ気方式」で、汚水の流入を連続的に行うと共にばつ気を間欠的に行う操作で、嫌気・好気状態を繰り返すことにより有機物と窒素の除去を効果的に行う方式です。

汚水を処理する水槽は2系列となっており、水槽のメンテナンス中も、汚水を常時受け入れることができます。

今後の課題等について お聞かせ下さい。

富岡市では生活排水の処理を、公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽・コミュニティプラントの4つの事業により排水処理を行っています。農業集落排水事業は岡本地区1地区のみが実施地区です。本地区は、平成17年4月に供用開始し、間もなく3年を経過しようとしています。施設への接続について啓蒙活動を行い、接続率の向上に努め、環境に配慮した循環型社会の実現、水質汚濁の防止を推進するため、適切な施設管理を行っていき、きれいな水、美しい自然を大切にしていきたいと考えています。

○×クイズで学ぶ群馬の農業集落排水と汚水処理の現状

群馬県県土整備部下水道環境課

これから群馬県の農業集落排水と汚水処理の現状についての○×クイズを行います。

Qで述べられていることが正しいと思ったら「○」、間違いと思ったら「×」と心の中で回答してください。

答えは、Aの文章を読んでいくとわかります。

10問すべて挑戦していただき、少しでも理解を深めていただければ幸いです。

では、さっそく始めましょう！

Q6 群馬県で農業集落排水施設を利用できる人は、全県民の約5.8%である。

A6 群馬県では、平成19年3月までにちょうど100地区で農業集落排水事業が完了し、この地区内にお住まいの約11万7千人の人が施設を利用できるようになりました。平成19年3月末時点の群馬県の人口は約201万6千人ですので、計算すると5.8%となります。したがって答えは「○」です。なお、将来的には、この5.8%を10.4%にまで引き上げることが目標となっています。

Q7 群馬県で農業集落排水施設が利用できる人は約11万7千人ですが、このうち実際に施設を利用している人の割合は約9割である。

A7 農業集落排水施設が整備され、その施設が利用できる状態にあるご家庭では、なるべく早く接続して利用していただく必要があります。これにはトイレの改造や宅地内の配管工事などの費用が必要となりますが、市町村によっては無利子の融資制度などもあります。しかし、既に合併処理浄化槽が設置されていたり、その他様々な家庭の事情により、まだ実際に接続して利用していない家庭が約3割(約3万4千人)残っています。つまり、実際に施設を利用しているのは約7割の人(約8万3千人)です。したがって答えは「×」です。まだ接続して利用していないご家庭では、なるべく早く接続していただくよう、お願いいたします。

Q8 群馬県で下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽などを利用できる地域にお住まいの人の割合(汚水処理人口普及率と言う)は、47都道府県で高い方から20位以内に入っている。

A8 ご存知のとおり群馬県は利根川の最上流部に位置し、多くのダムをかかえた水源県であり、「首都圏の水がめ」とも言われています。利根川の水は、群馬県民だけではなく多くの方が水道水や農業用水などに利用しています。しかし、群馬県の汚水処理人口普及率は65.8%で全国平均の82.4%より低く、47都道府県中、37番目に位置します。この65.8%のうち、約1割の家庭では実際には下水道や農業集落排水を利用していませんので、群馬県の約4割の家庭から出される家庭雑排水は、そのまま川や農業用水路などに流されています。したがって答えは「×」です。

Q9 群馬県で最も汚水処理人口普及率が高いのは、吉岡町である。

A9 平成の大合併により群馬県の市町村数は38になりました。この38市町村では、地域の状況に応じてそれぞれ公共下水道、農業集落排水、浄化槽など汚水処理施設の整備を進めており、これらの施設を利用できる地域にお住まいの人の割合を汚水処理人口普及率と言います。この率はA8でも述べたように群馬県全体では65.8%で、全国平均は82.4%となっています。県内で最も高い率は88.3%で、これは吉岡町です。次に高いのが昭和村の88.1%、桐生市と草津町の82.9%、上野村の82.8%と続きます。したがって答えは「○」です。

Q10 群馬県では、館林市を中心とした館林邑楽地域より、沼田市を中心とした利根沼田地域の方が汚水処理人口普及率が高い。

A10 館林邑楽地域の普及率約50%に対し、利根沼田地域の普及率は約70%で、約20ポイントの差があります。館林邑楽地区の普及率が低い原因は色々ありますが、県の流域下水道事業に着手したのが遅かったことや、館林市以外は農業集落排水事業にまだ着手していないことなどが主な原因と思われる。したがって答えは「○」です。

Q1 農業集落排水の処理場で汚れた水をきれいになっているのは微生物である。

A1 農業集落排水の処理場には大きな水槽があり、この中にはバクテリアや原生動物などの微生物がたくさんいて、この微生物が水の中の汚れを食べています。これで汚れた水がきれいになるのです。この基本的な仕組みは、公共下水道の処理場や家庭にある浄化槽でも同じです。したがって答えは「○」です。なお、薬品や毒物などを流すと微生物が死んでしまいますので、流さないようにしましょう。

Q2 農業集落排水事業の役割は、家庭雑排水や水洗トイレの排水などの汚れた水をきれいにするだけである。

A2 処理場で汚れた水をきれいにする過程で、「汚泥(おでい)」と呼ばれる微生物の死がいや細かい泥などが発生します。この汚泥は乾燥させることなどにより肥料になります。もちろんこの肥料は農作物に与えることができます。つまり農業集落排水事業は、これからの資源循環型社会の構築にも一役買っているのです。また、この汚泥はれっきとした「バイオマス」(再利用できる生物由来の資源)の一つであり、例えば生ゴミや家畜糞尿などと混ぜてメタンガスを発生させ、発電を行うこともできるのです。こういった施設も全国では既に数カ所で稼働しています。このように、農業集落排水事業の役割は汚れた水をきれいにするだけではありません。したがって答えは「×」です。

Q3 農業集落排水の下水道管には、雨水も流して良い。

A3 農業集落排水の処理場で処理するものは主に家庭雑排水、水洗トイレの排水、農家の作業排水などです。農業集落排水の処理場は、法律上はあくまでも浄化槽で、浄化槽法では、雨水は原則として流せないことになっていますので、流さないようにしましょう。また、工場からの排水など有害物質を含むおそれのある排水や、畜産糞尿も流せません。したがって答えは「×」です。

Q4 群馬県で最初に農業集落排水施設を建設したのは前橋市である。

A4 群馬県で最初に農業集落排水施設が稼働し始めたのは、今から約30年前の昭和54年9月です。この施設は小屋原処理区という名前で、前橋市の小屋原町にあります。その後、群馬県内では多くの市町村で農業集落排水事業が行われ、平成19年4月までに22市町村の115地区で事業が行われています。したがって答えは「○」です。

Q5 群馬県で最も多くの農業集落排水施設を持っているのは高崎市である。

A5 農業集落排水事業を実施しているのは主に農村地域です。高崎市は旧高崎市と4町1村が合併して誕生しました。渋川市も高崎市と同じく6つの市町村が合併して誕生しましたが、この渋川市は市町村合併により県内で一番多くの農業集落排水施設を持つことになりました。その数15。次に多いのは前橋市と太田市が共に11です。高崎市は5に留まります。したがって答えは「×」です。

富岡市岡本地区
松本喜夫

私たちの住む岡本地区の処理施設は、富岡市初の農業集落排水事業の施設として、平成17年3月に完成し供用開始となりました。

私の家でもそれに併せて早速単独浄化槽から切り替えて利用しております。おかげさまで家庭内の水まわりの臭気も改善され家族一同大変喜んでおります。

また家の周囲も近所のほとんどの家庭が接続を済ませたため側溝の臭気もなくなり、快適に過ごしております。

そして、下流域の方々からも最近川がきれいになり悪臭も少なくなったというような声も聞かれるようになり大変うれしく思っています。

それに加え、年4回の水質検査と、年1回の汲み取り掃除等の煩わしさもなくなり大いに助かっています。

また、近所の二人暮らしの老夫婦の方は「これは水の使用量が少ないので下水処理経費も安く済み接続の時は大変だったが、今になってみれば早く思い切って接続してよかった」と話していました。

また、地区外の人からは「早く自分たちのところもやってみてほしい」といってほしいという声も数多く聞かれています。

このように利点も多く、要望も多い農業集落排水事業ですので、財政面、その他、諸般の事情もあるかと思いますが、家庭排水の処理方法として

公共下水道に次ぐ最善の策であるこの事業を各地区に進めていただければと思います。

「憩いの場」への変身を！

高崎市浜川町在住

原田 光男

農業排施設建設以前、当地域は旧高崎市北西端に位置しており、純然たる農業地域であったために生活排水は水路に流すか又は浸透式で、汚物は直接汲み取り式か合併浄化槽による汲み取り式に処理を依存していた。そのため施設建設がもたらす新しい生活様式への期待感(環境衛生・都市化生活など)が膨らみ、利用者同の喜びは筆舌に尽くし難い程であった。

しかし、歳月の経過と共に当時の感激は影をひそめ、現在は生活に密着した当然の文化的設備の一部と捉えるようになってきている。心配な事に、他地区の施設と比較すると、この地区の施設は老朽化が著しいので、早期の改修工事に期待している。

喜ばしいことは、併設の「ふれあいの広場」に対する町内会会員のたゆまぬ作業協力である。年間五回の除草剤散布と四回の除草、一回のアメヒト駆除剤散布、樹木や植え込みの枝おろし刈り込み、トイレの定期的な清掃などで環境状態は

整っており、育成会のポーターボールの練習や高齢者のゲートボールに利用されている。知恵を更に出し合っている。地域住民の憩いの場となるよう、又、子供達の歓声が絶えない場



つくりあげていきたいものです。



農業集落排水の歴史コース水土里ネット群馬



FMぐんま公開生放送

浄化槽について学ぶ親子

「水、よみがえれ!キャンペーン」が行われました。

平成19年9月17日(祝)、県民に水環境を守る事の大切さを伝え、下水道・農業集落排水・浄化槽をPRするためのイベント「水、よみがえれ!キャンペーン」が、県下水環境課の主催で県庁1階の県民ホールにて行われました。
今年で3回目となるこのイベント。会場では協賛団体と協力企業が、下水道・農業集落排水・浄化槽の役割や仕組みなどを模型や写真パネルを使用しながら紹介し、訪れた県民が熱心に聞き入る姿も見られました。
また、本県出身でエッセイスト・青森大学教授の見城美枝子さんが「水と生活」と題した講演を行ったほか、県関係者らとの「水環境の保全」をテーマとしたトークショーを行い、この様子はFMぐんまで公開生放送されるなど、大変盛り上がりました。会場ではこのほかに、水環境を守る事の大切さを子供たちに訴えた「超速戦士G-FIVEショー」も行われ、多くの親子連れでにぎわいました。

群馬県農業集落排水事業連絡協議会 役員紹介



監事/塚越高男
《新任》高崎市



監事/金井郁治
《新任》渋川市
《前会長》



副会長/芝崎新吉
《新任》沼田市



副会長/阿部重治
《新任》前橋市



副会長/大橋博
《新任》館林市
《前監事》



会長/高山仁一
《新任》富士見村
《前副会長》

平成19年6月の第17回通常総会において役員が選任されました。(任期2年)



- 平成18年
- 5月・監事会及び監査・役員会
 - 6月・第16回通常総会並び研修会(前橋市内)
- 平成19年
- 6月~10月・農業集落排水に関する絵画コンクールの実施
 - 10月・「ぐんま集排だより」編集委員会
 - ・農業集落排水に関する絵画コンクール表彰式(群馬県庁昭和庁舎 正庁の間)
 - 11月・現地研修会(長野県東御市「汚泥を利用して製造される「活性水」について)
 - ・農業集落排水事業推進研修会(東京都)
 - 1月・機関紙「ぐんま集排だより」(11号) 44,000部発行
 - 2月・全国農業集落排水事業推進協議会第17回通常総会(東京都)

絵画コンクール作品紹介

最優秀賞 (群馬県知事賞)

中之条町立沢田小学校
4年生 浦 侑太郎さん



アユの放流

上沢渡川で4年生全員でアユの放流をしているところを書きました。

エフエム群馬賞

伊勢崎市立三郷小学校
5年生 緒方 貴一さん



お父さん カニだ〜!!

お父さんと赤城山の近くをとおったら、段々ばたけがありました。そのそばの川にはカニがたくさんいました。行先を変更して、カニ取りをしました。水がつかめたてきもち良かったです。

上毛新聞社賞

前橋市立大室小学校
6年生 品川 菜都貴さん



水と生物

私たちの身近な田畑の用水路、小川にいる生物たち。だんだん数が少なくなってきています。いつまでもいなくなるらないで魚採りなどが出来るように美しい自然をえがきました。

群馬テレビ賞

水と生物

甘楽町立
小幡小学校
4年生
佐藤 あずみさん

ほたるの光をみて、
かんだうしたからか
きました。



連合会長賞

田や川で生きる生物

館林市立
第九小学校
1年生
小倉 咲笑さん

田の中、川の中で生
きる生物がたくさん
いるので、生物や稲
のためにきれいにし
ておく事が大切。



優秀賞

増田 有希 甘楽町立秋畑小学校 6年生 魚の住むきれいな川
上田 隆景 館林市立第七小学校 1年生 川でザリガニをとっているぼく
笠原 萌加 館林市立第四小学校 2年生 ザリガニとり
桐生 直崇 渋川市立長尾小学校 5年生 はじめての田植え
桐生 正崇 渋川市立長尾小学校 5年生 昔の田植え
武土 勇斗 伊勢崎市立三郷小学校 3年生 手をふっている人と電車

協議会長賞

畑や水のなかまたち

前橋市立
二之宮小学校
3年生
澁澤 琴乃さん

お花と虫とやさいと
くだものたのしい
所やにぎやかな所
を書きました。



佳作

栗原 京香 東吾妻町立東小学校 6年生 農村における水と農業
澤田 滉史 前橋市立二之宮小学校 4年生 ようすいのいきもの
越川 華 前橋市立大室小学校 6年生 豊かな自然
近藤 瑞希 前橋市立二之宮小学校 5年生 てっかい鯉がとれたぞ
佐藤 瑞希 前橋市立大室小学校 4年生 水と生物
神澤 郁美 前橋市立大室小学校 1年生 アイワモときれいな田んぼ
吉永 悠信 館林市立第九小学校 1年生 たんぼの生き物
田村 芹 東吾妻町立東小学校 3年生 ホタルきれいだね
井上 洋貴 伊勢崎市立三郷小学校 3年生 やったー！ザリガニをとったぞ！
小堀 春樹 館林市立第七小学校 1年生 ザリガニとり

絵画コンクールについて

農村地域の環境保全と農業集落排水事業の啓発・普及を目的に、21世紀を担う子供達の視点から環境保全へのメッセージとして、絵画コンクールを開催したところ、8市町村、20小学校から167作品もの応募がありました。

審査については、専門知識者による事前審査のあと、本協会役員、代表幹事、群馬県、土地改良連合会の関係者が審査し、最優秀賞(群馬県知事賞)、上毛新聞社賞、群馬テレビ賞、エフエム群馬賞、連合会長賞、協議会長賞、優秀賞6作品及び、佳作10作品を決定しました。

絵画コンクール表彰式開催

絵画コンクールの表彰式が、平成19年10月6日(土)に群馬県庁昭和庁舎の正庁の間で開催されました。

表彰式には、受賞者の父兄や先生、行政の関係者をはじめ多数の来賓を迎えて盛大に開催されました。



家庭での心がけ

- ◆ 洗剤を利用するときは無リン洗剤を使う
- ◆ 台所の調理くず・てんぷら油等は流さないようにする
- ◆ 水洗トイレには溶ける紙を使用する
- ◆ 風呂場や洗面所の排水口に髪の毛、糸くず等を流さない



群馬県の汚水処理の現状

◆ 汚水処理人口普及率 65.8%
(農業集落排水、下水道、合併処理浄化槽
供用人口 1,326,551 人 / 県人口 2,016,236 人)

全国平均 82.4%
全国順位 37 位 (47 都道府県中)

◆ 農集排水処理人口普及率 5.8%
(集排供用人口 116,984 人 / 県人口 2,016,236 人)

◆ 農集排水処理人口接続率 70.9%
(接続人口 82,943 人 / 集排供用人口 116,984 人)

(H19.3.31 現在)